

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3175827号
(U3175827)

(45) 発行日 平成24年5月31日 (2012. 5. 31)

(24) 登録日 平成24年5月9日 (2012. 5. 9)

(51) Int.Cl.

A 4 7 B 67/04 (2006.01)

F I

A 4 7 B 67/04

B

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号	実願2012-1333 (U2012-1333)	(73) 実用新案権者	591054635
(22) 出願日	平成24年3月9日 (2012. 3. 9)		株式会社伸和
			新潟県新潟市西蒲区金池 1 O 番地
		(74) 代理人	100092691
			弁理士 黒田 勇治
		(72) 考案者	山本 和伸
			新潟県新潟市西蒲区金池 1 O 番地 株式会
			社伸和 内

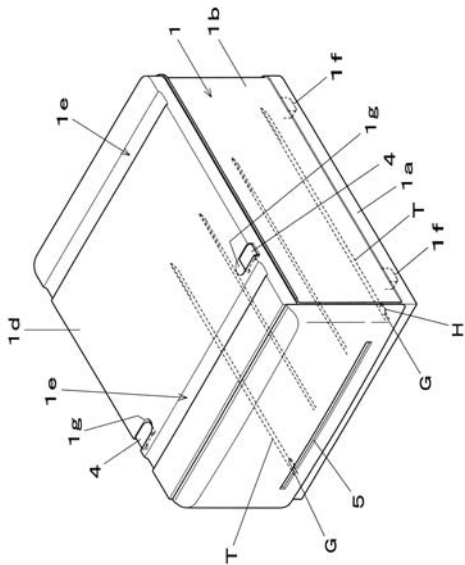
(54) 【考案の名称】 収納ケース

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 引出体の底面に引出収納方向に延びる凸条部を形成し、凸条部に嵌入凸部を形成し、枠本体の底板に嵌入凸部が嵌入可能な嵌入凹部を形成しているから、枠本体内の内部空間に引出体を収納したとき、嵌入凸部が嵌入可能な嵌入凹部に嵌入し、引出体が内部空間に収納されたことを手応えで感得することができると共に枠本体の設置状態や引出体内の収納物の収納状態、あるいは外力が加わった場合等において、引出体が前方に飛び出してくることを防ぐことができる収納ケースを提供する。

【解決手段】 前面が開口した内部空間をもつ合成樹脂製の枠本体 1 と、内部空間を形成する枠本体の底板 1 a 上に載置され、枠本体の前面の開口を介して引出収納自在に設けられた合成樹脂製の引出体とからなり、引出体の底面に引出収納方向に延びる凸条部 T を形成し、凸条部に嵌入凸部 H を形成し、枠本体の底板に嵌入凸部が嵌入可能な嵌入凹部 G を形成してなる。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

前面が開口した内部空間をもつ合成樹脂製の枠本体と、該内部空間を形成する枠本体の底板上に載置され、該枠本体の前面の開口を介して引出収納自在に設けられた合成樹脂製の引出体とからなり、上記引出体の底面に該引出体の引出収納方向に延びる凸条部を形成し、該凸条部に嵌入凸部を形成し、上記枠本体の底板上に該引出体の収納時において該嵌入凸部が嵌入可能な嵌入凹部を形成してなることを特徴とする収納ケース。

【請求項 2】

上下に前面が開口した複数の内部空間をもつ合成樹脂製の枠本体と、該複数の内部空間を形成する枠本体の複数の底板上に載置され、該枠本体の前面の開口を介して引出収納自在に設けられた合成樹脂製の複数の引出体とからなり、上記引出体の底面に該引出体の引出収納方向に延びる凸条部を形成し、該凸条部に嵌入凸部を形成し、上記枠本体の複数の底板上に該引出体の収納時において該嵌入凸部が嵌入可能な嵌入凹部を形成してなることを特徴とする収納ケース。

10

【請求項 3】

上記枠本体の上面に上記引出体の引出収納方向と直交する方向に延びる凹状溝部を形成すると共に上記枠本体の底面に該凹状溝部に摺動自在な嵌合部を設けてなることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の収納ケース。

【請求項 4】

上記天板体に各種の小物を吊下可能なフック体を格納自在に設けてなることを特徴とする請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の収納ケース。

20

【請求項 5】

上記引出体の前板の前面に合成樹脂製の表示板を選択的に取替自在に配置してなることを特徴とする請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載の収納ケース。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、例えば一般家庭に設置されて衣類や各種小物類等を整理収納する際に用いられる収納ケースに関するものである。

【背景技術】

30

【0002】

従来、この種の収納ケースとして、前面が開口した内部空間をもつ合成樹脂製の枠本体と、内部空間を形成する枠本体の底板上に載置され、枠本体の前面の開口を介して引出収納自在に設けられた合成樹脂製の引出体とからなる構造のものが知られている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】 実用新案登録第 3069647 号公報

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

40

【0004】

しかしながらこれら従来構造の場合、枠本体の底板上に載置された引出体を枠本体内の内部空間に収納したとき、引出体は枠本体の底板上に載置されたままであるから、枠本体の設置状態、引出体内の収納物の収納状態や外力が加わった場合、引出体が前方に飛び出してくるおそれがあるという不都合を有している。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本考案はこれらの不都合を解決することを目的とするもので、本考案のうちで、請求項 1 記載の考案は、前面が開口した内部空間をもつ合成樹脂製の枠本体と、該内部空間を形成する枠本体の底板上に載置され、該枠本体の前面の開口を介して引出収納自在に設けら

50

れた合成樹脂製の引出体とからなり、上記引出体の底面に該引出体の引出収納方向に延びる凸条部を形成し、該凸条部に嵌入凸部を形成し、上記枠本体の底板に該引出体の収納時において該嵌入凸部が嵌入可能な嵌入凹部を形成してなることを特徴とする収納ケースにある。

【0006】

又、請求項2記載の考案は、上下に前面が開いた複数の内部空間をもつ合成樹脂製の枠本体と、該複数の内部空間を形成する枠本体の複数の底板上に載置され、該枠本体の前面の開いた開口を介して引出収納自在に設けられた合成樹脂製の複数の引出体とからなり、上記引出体の底面に該引出体の引出収納方向に延びる凸条部を形成し、該凸条部に嵌入凸部を形成し、上記枠本体の複数の底板に該引出体の収納時において該嵌入凸部が嵌入可能な嵌入凹部を形成してなることを特徴とする収納ケースにある。

10

【0007】

又、請求項3記載の考案は、上記枠本体の上面に上記引出体の引出収納方向と直交する方向に延びる凹状溝部を形成すると共に上記枠本体の底面に該凹状溝部に摺動自在な嵌合部を設けてなることを特徴とするものであり、又、請求項4記載の考案は、上記天板体に各種の小物を吊下可能なフック体を格納自在に設けてなることを特徴とするものであり、又、請求項5記載の考案は、上記引出体の前板の前面に合成樹脂製の表示板を選択的に取替自在に配置してなることを特徴とするものである。

【考案の効果】

【0008】

本考案は上述の如く、請求項1記載の考案にあっては、枠本体の底板上に載置された引出体を枠本体の前面の開いた開口を介して引出収納して衣類や各種小物類等を整理収納することになり、この際、上記引出体の底面に引出体の引出収納方向に延びる凸条部を形成し、凸条部に嵌入凸部を形成し、上記枠本体の底板に引出体の収納時において嵌入凸部が嵌入可能な嵌入凹部を形成しているから、枠本体内の内部空間に引出体を収納したとき、嵌入凸部が嵌入可能な嵌入凹部に嵌入し、この嵌入により引出体が内部空間に収納されたことを手応えで感得することができると共に枠本体の設置状態や引出体内の収納物の収納状態、外力が加わった場合において、引出体が前方に飛び出してくることを防ぐことができ、使用の利便性及び使用の安全性を高めることができる。

20

【0009】

又、請求項2記載の考案にあっては、枠本体の底板上に載置された引出体を枠本体の前面の開いた開口を介して引出収納して衣類や各種小物類等を整理収納することになり、この際、上記複数の引出体の底面に引出体の引出収納方向に延びる凸条部を形成し、凸条部に嵌入凸部を形成し、上記枠本体の底板に引出体の収納時において嵌入凸部が嵌入可能な嵌入凹部を形成しているから、枠本体内の複数の内部空間にそれぞれ引出体を収納したとき、嵌入凸部が嵌入可能な嵌入凹部に嵌入し、この嵌入により引出体が内部空間に収納されたことを手応えで感得することができると共に枠本体の設置状態や引出体内の収納物の収納状態、外力が加わった場合において、引出体が前方に飛び出してくることを防ぐことができ、使用の利便性及び使用の安全性を高めることができる。

30

【0010】

又、請求項3記載の考案にあっては、上記枠本体の上面に上記引出体の引出収納方向と直交する方向に延びる凹状溝部を形成すると共に上記枠本体の底面に凹状溝部に摺動自在な嵌合部を設けているから、複数の収納ケースを積み重ねた状態において、凹状溝部と上記嵌合部との嵌合により、上段の収納ケースの前側への滑り落ちを防ぐことができ、積み重ねの安定性を高めることができ、かつ、積み重ね状態の安定を維持しつつ上下の収納ケースの相互の幅方向の配置位置を自由に変更することができ、積み重ねの配置位置の融通性を高めることができ、各種の使用態様、設置位置、各種の収納物等に応じて積み重ねの配置位置を変えることができ、収納ケースの使用位置の融通性及び快適性を高めることができ、又、請求項4記載の考案にあっては、上記天板体に各種の小物を吊下可能なフック体を格納自在に設けてなるから、帽子、鞆、ベルトなどを掛けて置くことができ、使用

40

50

の利便性を高めることができ、又、請求項 5 記載の考案にあっては、上記引出体の前板の前面に合成樹脂製の表示板を選択的に取替自在に配置してなるから、色彩等の区別可能な数種類の表示板を用意し、例えば、親と子供、男性と女性等に応じて表示板を選択的に取り替えて配置することにより引出体内の収納物を収納ケースの外方から認識することができる。

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図 1】本考案の実施の第一形態例の全体斜視図である。

【図 2】本考案の実施の第一形態例の全体分解斜視図である。

【図 3】本考案の実施の第一形態例の全体断面図である。

【図 4】本考案の実施の第一形態例の部分斜視図である。

【図 5】本考案の実施の第一形態例の部分斜視図である。

【図 6】本考案の実施の第一形態例の部分断面図である。

【図 7】本考案の実施の第一形態例の部分断面図である。

【図 8】本考案の実施の第一形態例の部分断面図である。

【図 9】本考案の実施の第一形態例の部分断面図である。

【図 10】本考案の実施の第一形態例の部分斜視図である。

【図 11】本考案の実施の第一形態例の部分断面図である。

【図 12】本考案の実施の第二形態例の全体斜視図である。

【考案を実施するための形態】

【0012】

図 1 乃至図 12 は本考案の実施の各種の形態例を示し、図 1 乃至図 11 は第一形態例、図 12 は第二形態例である。

【0013】

図 1 乃至図 11 の第一形態例において、1 は枠本体であって、合成樹脂製にして、底板 1 a、左右の側板 1 b・1 b、後板 1 c、天板体 1 d からなり、前面が開口した内部空間 2 を有する枠状に形成されている。

【0014】

3 は引出体であって、合成樹脂製にして、底板 3 a、前板 3 b、左右の側板 3 c・3 c、後板 3 d からなり、上面が開口した容器状に形成され、上記枠本体 1 の底板 1 a 上に載置され、上記枠本体 1 の前面の開口を介して内部空間 2 に引出収納自在に設けられている。

【0015】

そして、上記引出体 3 の底板 3 a の底面に引出体 3 の引出収納方向に延びる凸条部 T が形成され、凸条部 T に嵌入凸部 H が形成され、一方、上記枠本体 1 の底板 1 a に引出体 3 の収納時、すなわち、引出体 3 を内部空間 2 内に完全に収納した時において、嵌入凸部 H が嵌入可能な嵌入凹部 G を形成している。

【0016】

この場合、凸条部 T・T は左右位置に形成され、凸条部 T・T に半円弧板状の嵌入凸部 H を嵌入凹部 G との相対位置を考慮して形成し、嵌入凹部 G は上記枠本体 1 の底板 1 a に穴部状に形成されてる。

【0017】

又、この場合、上記天板体 1 d の上面に上記引出体 3 の引出収納方向と直交する方向に延びる凹状溝部 1 e・1 e を形成すると共に上記枠本体 1 の底板 1 a の底面に凹状溝部 1 e・1 e に摺動自在な前後一対ずつの計 4 個の嵌合部 1 f・1 f・1 f・1 f を設けている。

【0018】

4 はフック体であって、図 10、図 11 の如く、上記天板体 1 d に各種の小物を吊下可能なフック体 4 を枢軸 4 a により起倒自在に設け、天板体 1 d に格納部 1 g を形成し、フック体 4 を格納部 1 g に格納自在に設けている。

【0019】

5は表示板であって、合成樹脂製にして、上記引出体3の前板3bの前面に選択的に取替自在に配置されている。

【0020】

この実施の第一形態例は上記構成であるから、枠本体1の底板1a上に載置された引出体3を枠本体1の前面の開口を介して引出収納して衣類や各種小物類等を整理収納することになり、この際、上記引出体3の底面に引出体3の引出収納方向に延びる凸条部Tを形成し、凸条部Tに嵌入凸部Hを形成し、上記枠本体1の底板1aに引出体3の収納時において嵌入凸部Hが嵌入可能な嵌入凹部Gを形成しているから、枠本体1内の内部空間2に引出体3を収納したとき、嵌入凸部Hが嵌入可能な嵌入凹部Gに嵌入し、この嵌入により引出体3が内部空間2に収納されたことを手応えで感得することができると共に枠本体1の設置状態や引出体3内の収納物の収納状態、あるいは外力が加わった場合等において、引出体3が前方に飛び出してくることを防ぐことができ、使用の利便性及び使用の安全性を高めることができる。

【0021】

又、この場合、上記枠本体1の上面に上記引出体3の引出収納方向と直交する方向に延びる凹状溝部1e・1eを形成すると共に上記枠本体1の底面に凹状溝部1e・1eに摺動自在な嵌合部1f・1f・1f・1fを設けているから、複数の収納ケースを積み重ねた状態において、凹状溝部1e・1eと上記嵌合部1f・1f・1f・1fとの嵌合により、上段の収納ケースの前側への滑り落ちを防ぐことができ、積み重ねの安定性を高めることができ、かつ、積み重ね状態の安定を維持しつつ上下の収納ケースの相互の幅方向、すなわち、引出体3の引き出し収納方向に直交する方向の配置位置を自由に変更することができ、積み重ねの配置位置の融通性を高めることができ、各種の使用態様、設置位置、各種の収納物等に応じて積み重ねの配置位置を変えることができ、収納ケースの使用位置の融通性及び快適性を高めることができ、又、この場合、上記天板体1dに各種の小物を吊下可能なフック体4を格納自在に設けてなるから、帽子、鞆、ベルトなどを掛けて置くことができ、使用の利便性を高めることができ、又、この場合、上記引出体3の前板3bの前面に合成樹脂製の表示板5を選択的に取替自在に配置してなるから、色彩等の区別可能な数種類の表示板5を用意し、例えば、親と子供、男性と女性等に応じて表示板5を選択的に取り替えて配置することにより引出体3内の収納物を収納ケースの外方から認識することができ、使用の利便性を高めることができる。

【0022】

図12の第二形態例は別例構造を示し、この場合、上記第一形態例と同様な底板1a、左右の側板1b・1b、後板1cからなる前面及び上面が開口した枠体を上下に複数個、この場合三個積み重ね、最上位の側板1b・1bの上面を天板体1dで覆われて上下に前面が開口した三個の内部空間2・2・2をもつ合成樹脂製の枠本体1と、この三個の内部空間2・2・2を形成する枠本体1の三個の底板1a・1a・1a上に載置され、枠本体1の前面の開口を介して引出収納自在に設けられた合成樹脂製の三個の引出体3・3・3とからなり、上記引出体3・3・3の底面に引出体3・3・3の引出収納方向に延びる凸条部T・T・Tを形成し、凸条部T・T・Tに嵌入凸部H・H・Hを形成し、枠本体1の三個の底板1a・1a・1aに引出体3・3・3の収納時において嵌入凸部H・H・Hが嵌入可能な嵌入凹部G・G・Gを形成している。

【0023】

この実施の第二形態例にあっても、上記第一形態例と同様に、枠本体1内の内部空間2に引出体3を収納したとき、嵌入凸部Hが嵌入可能な嵌入凹部Gに嵌入し、この嵌入により引出体3が内部空間2に収納されたことを手応えで感得することができると共に枠本体1の設置状態や引出体3内の収納物の収納状態、外力が加わった場合において、引出体3が前方に飛び出してくることを防ぐことができ、使用の利便性及び使用の安全性を高めることができる。

【0024】

尚、本考案は上記実施の形態例のものに限られず、例えば、枠本体 1 の数、段数、大きさ、引出体 3 の個数、構造は用途に応じて定められる。

【0025】

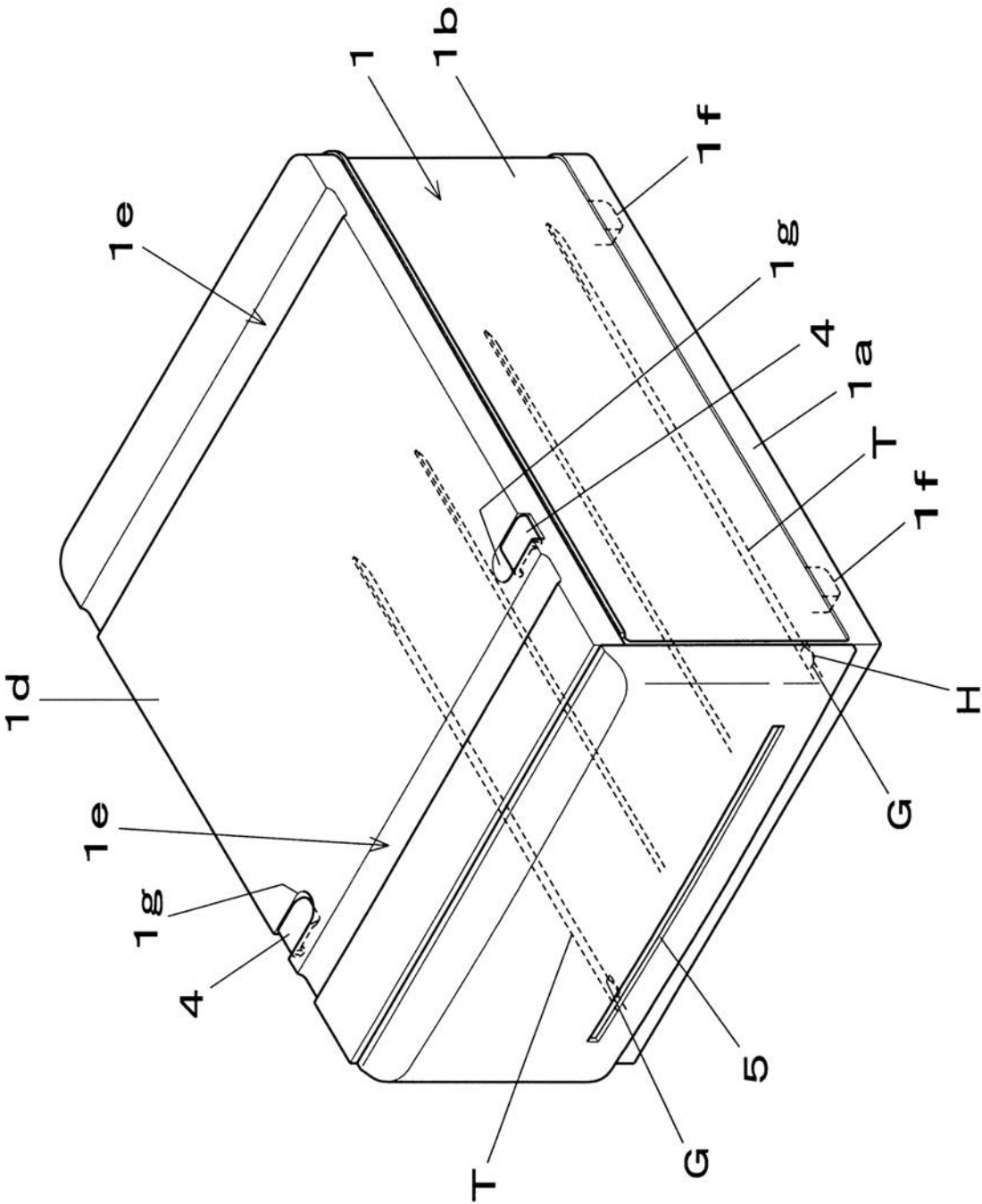
以上の如く、所期の目的を充分達成することができる。

【符号の説明】

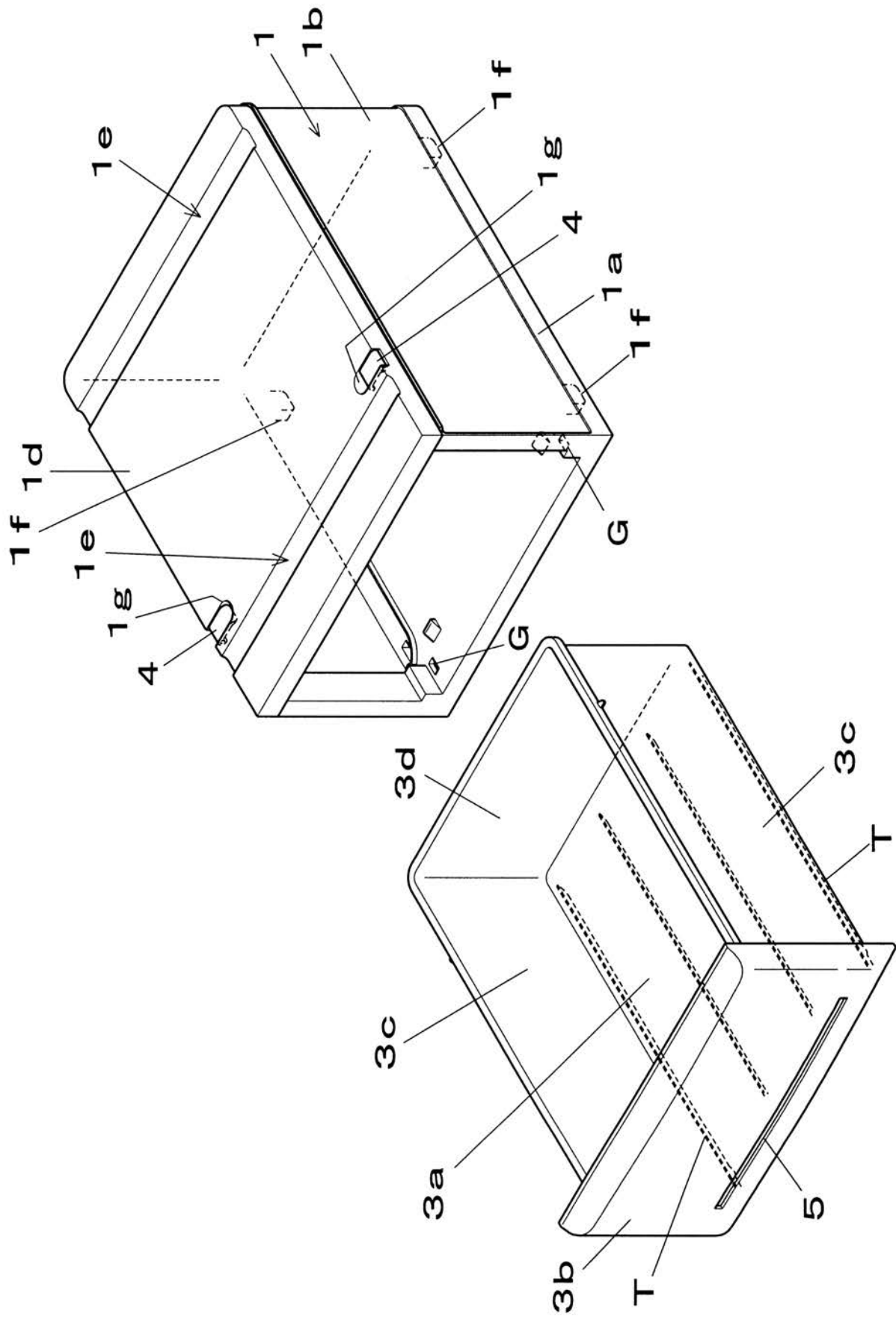
【0026】

- T 凸条部
- H 嵌入凸部
- G 嵌入凹部
- 1 枠本体
- 1 a 底板
- 1 e 凹状溝部
- 1 f 嵌合部
- 2 内部空間
- 3 引出体
- 3 b 前板
- 4 フック体
- 5 表示板

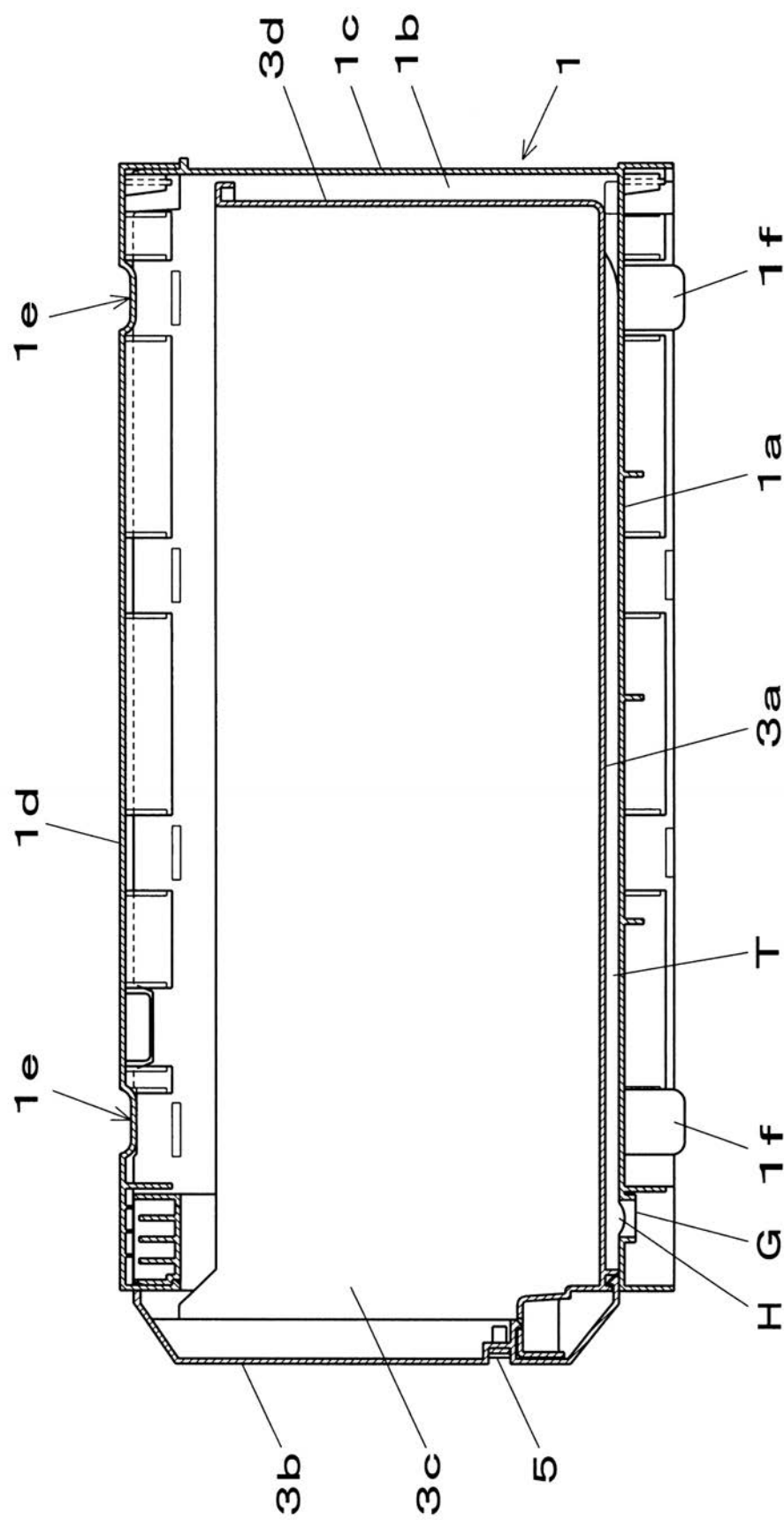
【図 1】



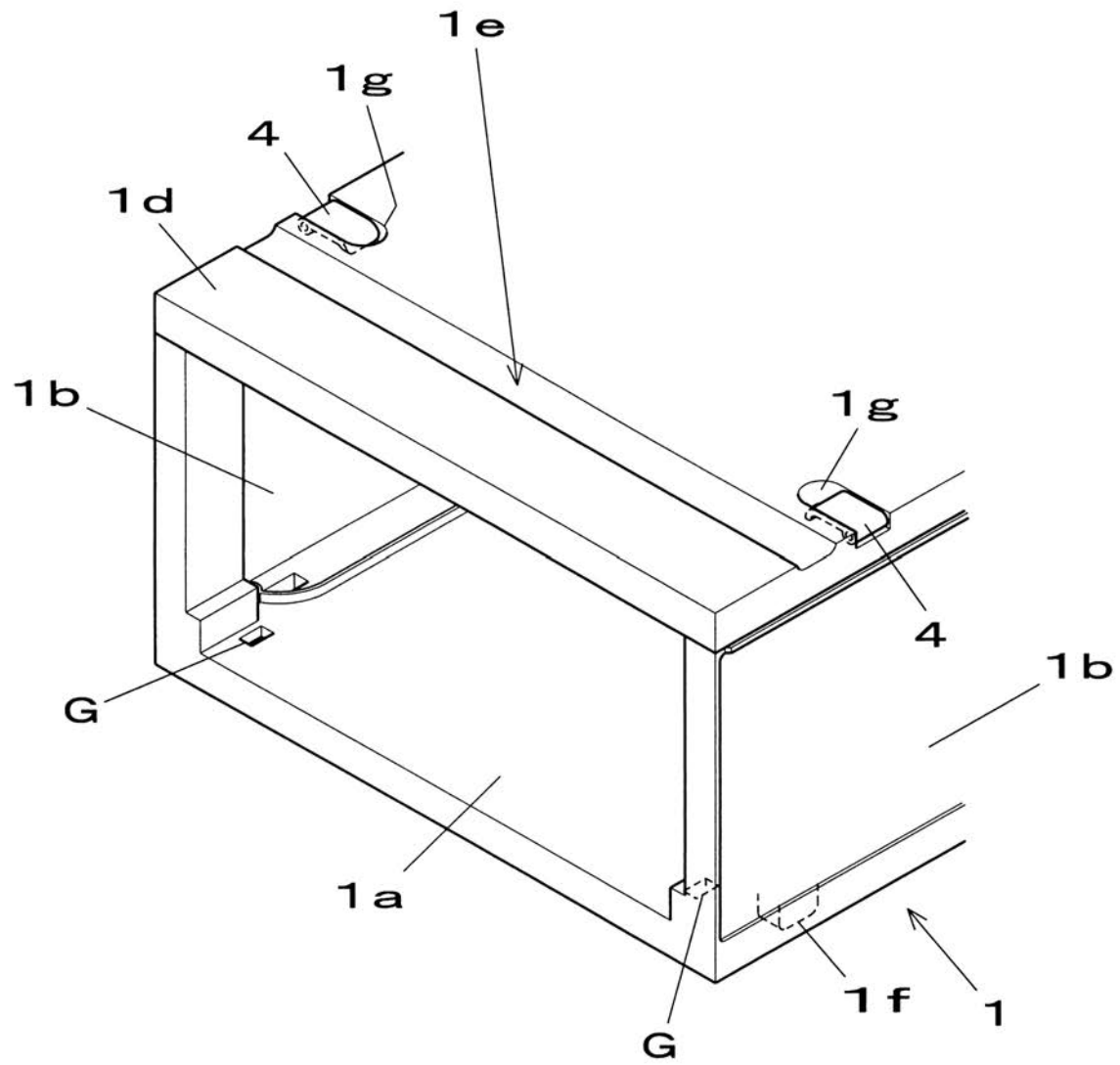
【図 2】



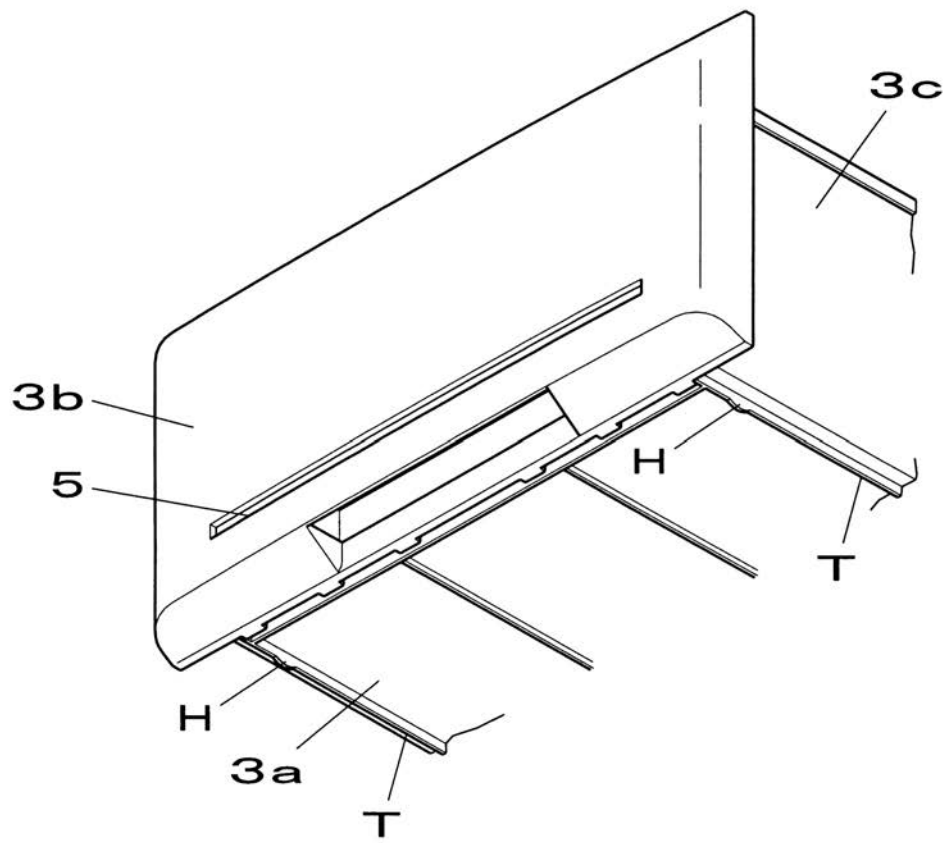
【図 3】



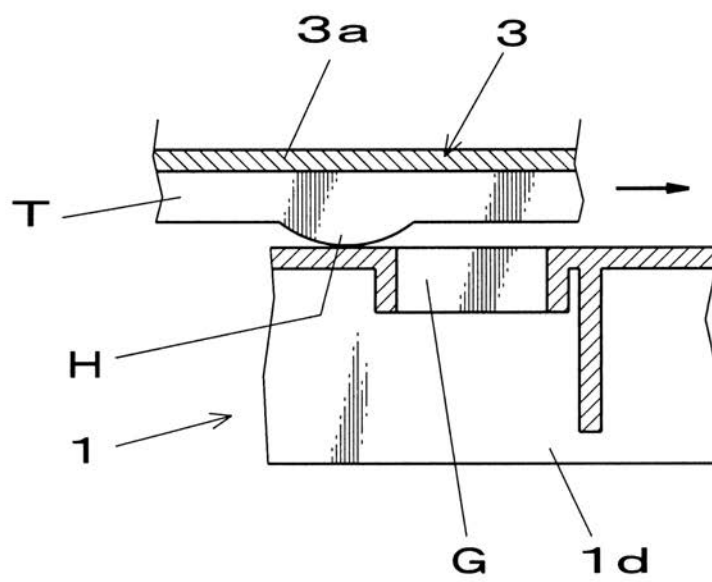
【図 4】



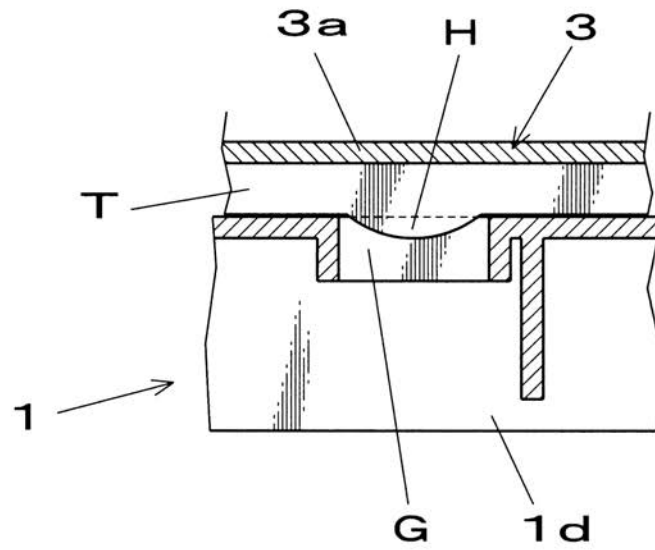
【図 5】



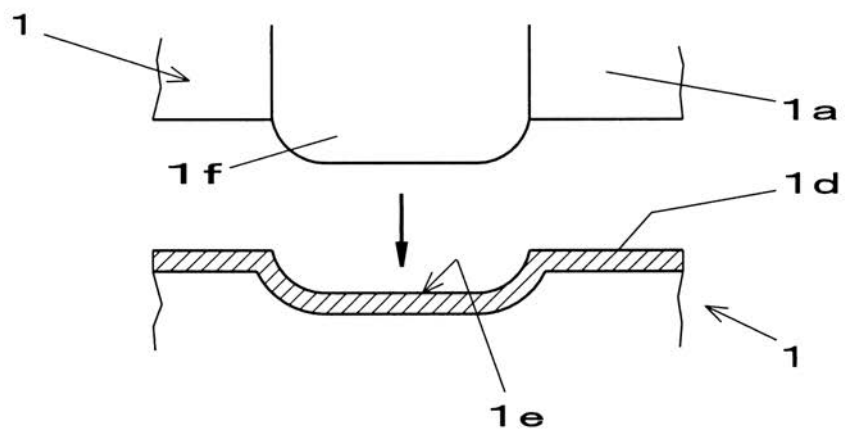
【図 6】



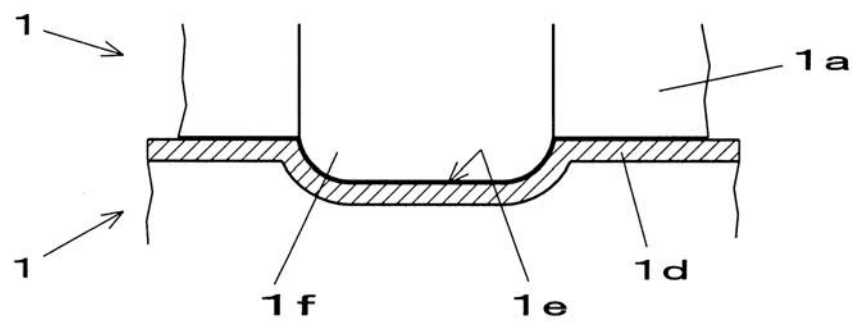
【図 7】



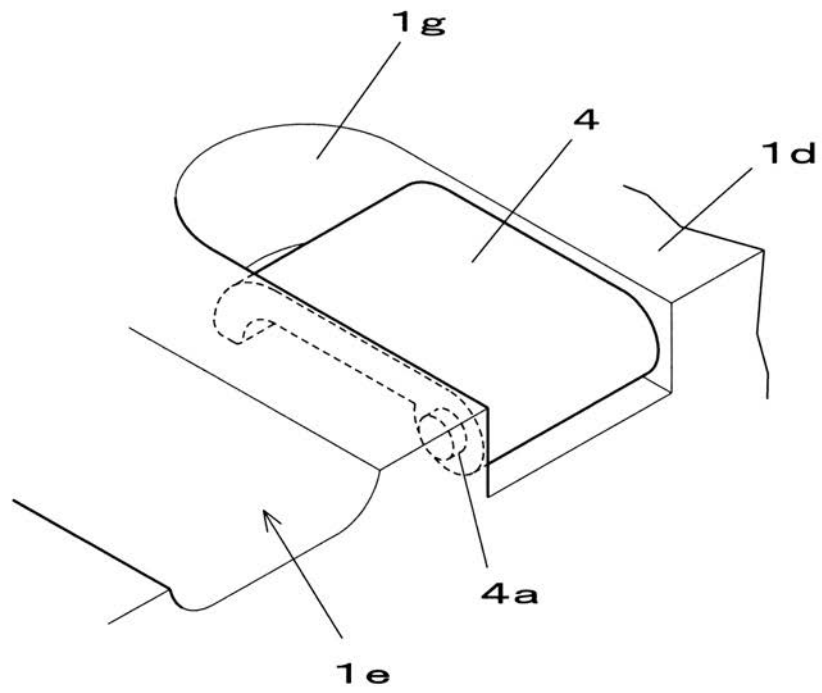
【図 8】



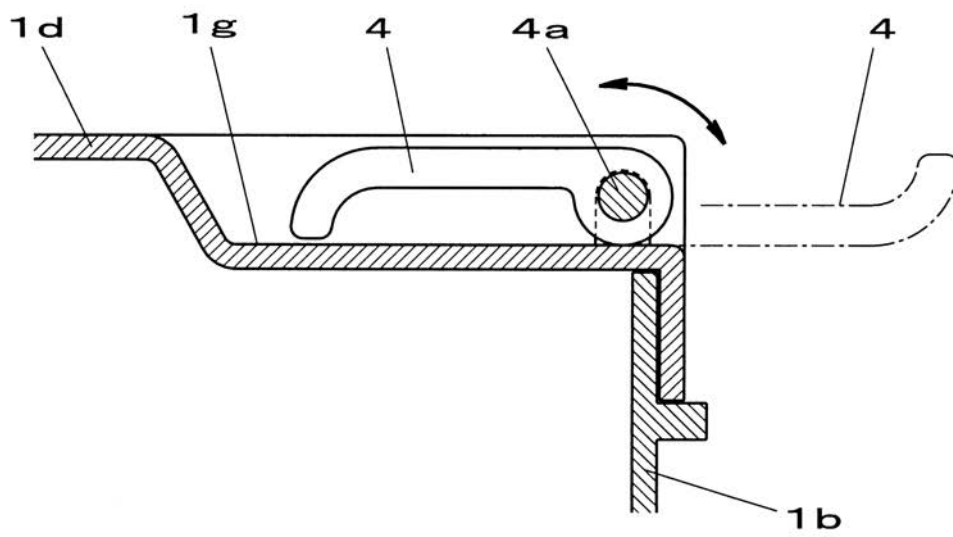
【図 9】



【図 10】



【図 11】



【図 12】

